



# 町長回誌

No.227

町長日誌の第 227 号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

## 9月20日 (火曜日) PM 1 : 30

「今まで経験したことのない台風」と気象庁が警鐘を鳴らした台風 14 号は九州・中国地方など一部の地域で被害が発生して死者も出ましたが予想外に太平洋側に進路をそらしたため、今日は午前中から天候が回復しています。この 3 連休、海では秋サケ釣をする人で賑わっていたようです。それにしても日の暮れる時間が早くなり朝夕寒くなりました。まさに『秋』となりました。

町内で毎週 10 ～ 20 名の感染者が出ていたコロナ感染症は落ち着きを見せていますし、全国・道内共にご下火になって来たようです。オミクロン型のワクチン接種も新たに始まりますので、詳細は役場からの広報をご覧ください。

## 9月8日 (木曜日)

第 3 回定例議会が開会しました。議会の初めには「町長の行政報告」が必ずあります。現在、建設に向け「認定こども園」の実施設設計が終わり、本来であれば事業実施に向けた予算案を提出するところでしたが、今回この報告の中で、建設計画を 2 年間先送りすることを表明しました。この事はすでに議会と協議し了承を頂いていることですが、開園予定を令和 6 年 10 月から令和 8 年 10 月へ変更することにしました。入園を楽しみにされていたご家庭には心からお詫びを申し上げます。この延期の最大の理由は事業費が予想以上に膨らんだことです。コロナやウクライナ戦争、さらには円安の影響を受けて建設費が今年 6 月時点では 13.7 億円の想定が今回 17.4 億円と 4 億円も増えてしまったことが最大の理由です。町が建設し、はまなす学園に運営を委託するこども園は保育所と幼稚園を同居させた「幼保連携型認定こども園」です。園児数は最大 150 名を計画、コロナ前までは建設費を 10 億円程度と考えていましたが大幅な予算オーバーとなってしまいました。町としては「過疎債」という有利な借り入れと、町の貯金を崩して事業を行う予定ですが、ふるさと納税が昨年より好調と言うこともあり、2 年間で基金を作り、できるだけ今ある貯金を崩さない考えです。しかし、2 年待っても建設単価が下がることはないと思いますが、給食の体制や、併設予定の子育て支援センターなどの見直しを早急に行い、できるだけ保育・幼稚園部分の削減をしない中で、建設費の圧縮を行いたいと考え 2 年間の延期となりました。現在、コロナ禍・円安・物価高により町の基幹産業である酪農業は危機的状況にあります。今議会でも高騰する飼料に対する特別対策を雄武町と連携して行いました。その他、建設業や運送業をはじめ様々な産業界に影響が出始めています。町民の生活にもこの物価高はすでに影響が出ていることから、町としてはその対策のための備えを考えた時、楽しみにしていたご家庭には本当に申し訳ないことではありますが 2 年延期の決断をいたしましたので、皆様のご理解をお願いいたします。

夏休みが終わり、新学期が始まった小学校と中学校はコロナ禍ではありましたが無事に修学旅行に行くことが出来ました。中学 3 年生は例年修学旅行の中、札幌市で「町の PR 活動」を行っています。このため普段から町のことを勉強して PR 誌を作成し、市民の皆さんに声掛けをしてこの冊子を渡す活動をしてきています。このため、町は 3 年生全員を「興部町ふるさと PR 大使」に任命しています。今年は北大マルシェにて PR していただきました。皆さん、どうもありがとうございました。さて、朝夕冷えますからご自愛ください。では、また。



お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務係まで。TEL 82・2131 です。

